



世界に潤いと共鳴を。 ジャパンファウンデーションの願いです。

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、
世界の全地域において総合的に国際文化交流事業を実施する
日本で唯一の組織として、
日本と世界の人々が調和的に共存できる未来を
築いていくために活動しています。



■組織概要

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、1972年に日本の国際文化交流事業を推進するための専門機関として設立された外務省所管の特殊法人を前身とし、2003年10月1日に独立行政法人となりました。

役職員数は229名(2006年3月31日現在)です。国内に本部と京都支部、2つの附属機関(日本語国際センター、関西国際センター)、海外18カ国に19の海外拠点をもっています。

政府出資金(1,110億円)を財政的基礎とし、その運営は政府出資金等からの運用収入、政府からの運営費交付金および民間からの寄付金よりまかなわれています。

■設立の目的

【独立行政法人国際交流基金法第3条】

独立行政法人国際交流基金は、国際文化交流事業を総合的かつ効率的に行なうことにより、我が国に対する諸外国の理解を深め、国際相互理解を増進し、及び文化その他の分野において世界に貢献し、もって良好な国際環境の整備並びに我が国の調和ある対外関係の維持及び発展に寄与することを目的とする。

●「世界を開く」JFの3事業部門

ジャパンファウンデーションのフィールドは3部門。



1
文化芸術交流
Arts & Culture

アジア
大洋州
Asia & Oceania

欧州 中東
アフリカ
Europe,
Middle East &
Africa

米州
The Americas

1
文化芸術交流
Arts & Culture

2
日本語教育
Overseas Japanese Language Education

3
日本研究・知的交流
Japanese Studies &
Intellectual Exchange

1 文化芸術交流事業

日本の伝統文化はもちろん、今、国際的な注目を集めるポップカルチャーまで、現代日本の多様な文化的魅力を海外に発信。また、内外の芸術家・文化関係者や市民、青少年の新しい交流の場をつくり出しています。さらに、美術・舞台芸術・映像メディア・出版など様々な分野のプロデュースを通じた国際交流も行っています。

2 海外における日本語教育事業

海外で日本語を学習する人、教える人のさらなる拡大をめざし、日本語専門家の海外派遣、日本語能力試験の実施、外国人日本語教師の訪日研修など、総合的な日本語教育事業を展開しています。

3 日本研究・知的交流事業

国際的な対話の場や研究の促進を通じ、日本社会の実像を海外に伝えることで、ステレオタイプな日本像を変革。また、地球規模の課題解決や文明間の対話など国際的な知的ネットワーク作りを推進しています。

情報センター

定期行物「遠近(をちこち)」やWebなどを通じ、国際交流に関する内外情報を提供。海外事務所を活用しながら交流の担い手となる方々と海外情報を交換し、連携強化を促進します。

<アジア・大洋州><米州><欧州・中東・アフリカ>の3地域を3人の理事がそれぞれ担当。地域的なアプローチを行っています。

